

氏名	武田 功
学位の種類	医学博士
学位授与番号	博乙第1935号
学位授与の日付	昭和63年9月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）
学位論文題目	拒絶腎浸潤細胞の免疫組織学的解析 —ABC法および二重染色法を用いて—
論文審査委員	教授 赤木忠厚      教授 寺本 滋      教授 太田善介

### 学位論文内容の要旨

移植腎が拒絶される最も大きな原因は拒絶反応によるものである。そこで、移植後、摘出を余儀なくされた拒絶腎を用いて、ABC法、および二種類の蛍光色素を用いた二重染色による免疫組織学的解析を行った。

ABC法では活性化リンパ球および抗原提示細胞の検索を行った。すべての拒絶腎においてOKIal<sup>+</sup>細胞の浸潤が最も強く、活性化リンパ球のなかではこれが拒絶反応の重要な働きをしているものと思われた。抗原提示細胞では少ないながらもS100蛋白<sup>+</sup>細胞の浸潤がみられた。

二重染色ではOKT8<sup>+</sup>Leu15<sup>-</sup>細胞（キラーT細胞）やLeu3a<sup>+</sup>Leu8<sup>-</sup>細胞（ヘルパーT細胞）の浸潤が多く認められた。活性化マーカーとの二重染色では、Leu3a<sup>+</sup>OKIal<sup>+</sup>細胞が最も多く浸潤していた。

以上の染色結果より、拒絶反応には活性化されたキラーT細胞やヘルパーT細胞が強く関与していることが示唆された。

### 論文審査の結果の要旨

本研究は移植後拒絶腎浸潤細胞を二重染色法を含む免疫組織学的方法によって観察したものであるが、従来十分に明らかにされていなかった浸潤細胞の性状について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。